

# 誰もが安心してその人らしく 過ごし続けられる 地域社会って…?



日本では、これから20年で75歳以上の後期高齢者の人口が倍増し、超高齢社会に突入します。この傾向は都市部で顕著であり、文京区も例外ではありません。誰もが安心してその人らしく過ごし続けることのできる地域社会が求められています。

では、どうすればそのような地域社会になっていくのでしょうか?

まずは一人一人が「どこでどのように老いることが幸せか」、ひいては「どこでどのように人生の最期を迎えたいか」を真剣に考えることが大事であり、そのことが真に心豊かな社会を実現することにつながると考えます。今回の映画・講演が、そのきっかけになれば幸いです。

文の京・  
大いなる学び

シリーズ 第5回

2010年

2月2日(火)

14:00~17:00 (13:30 開場)

文京シビックセンター  
小ホール (2F)

入場無料・要申込 [詳細裏面](#)

14:00 映画

↓  
16:00 「終わりよければすべてよし」(抜粋上映)

監督 羽田澄子

16:00 講演と質疑応答

↓  
17:00 「超高齢社会のまちづくりモデル

一心豊かな超高齢社会のまちづくりを目指してー」

東京大学高齢社会総合研究機構 教授 辻 哲夫

健康長寿のまちづくり  
—映画上映と講演会—

文京区・東京大学連携事業



文京区・東京大学連携事業  
**健康長寿のまちづくり**  
— 映画上映と講演会 —

▶ 映画「終わりをければすべてよし」(抜粋上映)



映画は、日本での在宅や福祉施設での人生終末期のケアの

すべての人にとって、絶対に避けられないのが死です。しかし自分がどんな死をむかえるかは誰にもわかりません。理想的な死とは、自宅で親しい人に見守られ、安らかな最後を迎えることではないでしょうか。この

優れた例とともに、スウェーデンをはじめとする海外の進んだシステムも取材しました。今回、医療サイドからの視点で、在宅医療の理念とシステムの問題を中心に取り上げていますが、映画を作りながら、人が生きるためのシステムを可能にするには、看護や介護のサービス、福祉サービスと医療の連携の大切さを感じることもありました。さらに、政治は無論のことですが、医師の努力とともに、それを推し進める住民の力が大切なのだと痛感しています。  
(演出:羽田澄子)

羽田澄子(記録映画作家)

1926年、旧満洲大連生まれ。自由学園を卒業後、記録映画の岩波映画製作所に入社。初演出作品は、1957年の「村の婦人学級」。岩波映画製作所を退社後は、フリーとして主に自主製作に取り組む。

「痴呆性老人の世界」(86年)、「安心して老いるために」(90年)、「住民が選択した町の福祉」(97年)、「あの鷹巣町のその後」(05~06年)、「終りよければすべてよし」(06年)など福祉、医療をテーマにした作品のほか、「薄墨の桜」(77年)、「早池

峰の賦」(82年)、「歌舞伎役者片岡仁左衛門」(6部作、92~94年)、「平塚らいてうの生涯」(01年)、「山中常盤」(04年)、「嗚呼満蒙開拓団」(08年)など、多岐に渡る題材で作品づくりに取り組み続ける。

▶ 講演「超高齢社会のまちづくりモデル 一心豊かな超高齢社会のまちづくりを目指して」

日本は将来、かつて世界のどの国も経験したことのないような超高齢社会に突入します。医療や福祉にとどまらず、都市部のコミュニティ維持や交通・住宅など、現在のあり方やシステムでは対応できない事態が起こると考えられます。それに対応するには、これまでの考え方を大きく転換していく必要があります。

講演では、東京大学高齢社会総合研究機構が千葉県柏市で取り組んでいる事例を交えながら、どのような地域社会を目指すべきか、現状では何が足りないのかを考えていきたいと思います。



辻 哲夫

東京大学高齢社会総合研究機構 教授  
田園調布学園大学 客員教授

1947年生まれ。1971年厚生省入省、厚生省老人福祉課長、保険局・健康政策局担当審議官、保険局長、厚生労働審議官、厚生労働事務次官などを歴任。

著書に、『日本の医療制度改革がめざすもの』(時事通信社)など。

東京大学高齢社会総合研究機構とは…

日本は今、世界がかつて経験したことのないほどの高齢社会に突入しようとしています。東京大学高齢社会総合研究機構は、『ジェロントロジー(老年学)』の学問分野を確立し、来るべき高齢社会の諸問題を解決するために、2009年4月に設立されました。

▶ お申し込み方法

先着順  
定員300名  
お申し込みは  
お早めに!

**往復はがき**▶ 住所・氏名・電話、返信部分にも宛先を明記し、以下へお送りください。

〒112-8555 文京区春日1-16-21 文京区役所アカデミー推進課「大いなる学び・5」宛

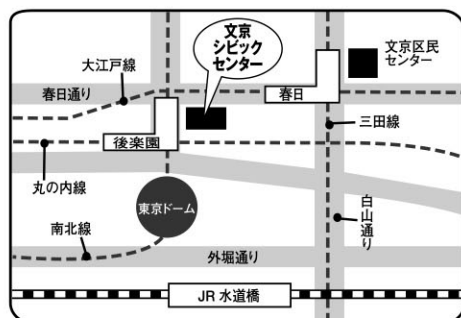
**Eメール**▶ b250500@city.bunkyo.lg.jpまで、住所・氏名・電話・返信用メールアドレスを明記し、メールのタイトルを「大いなる学び・5」にして以下へお送りください。

**締め切り**▶ 往復はがきは1月22日(金)まで、Eメールは1月25日(月)まで。

▶ URL

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/osirase.html> ←文京区のホームページから「2月2日」の頁をご覧ください。

▶ 交通案内



文京シビックセンター

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

- 東京メトロ 丸ノ内線・南北線「後楽園駅」【徒歩1分】
- 都営地下鉄 三田線・大江戸線「春日駅」【徒歩1分】
- JR 中央線・総武線「水道橋駅」【徒歩8分】
- 都バス [都02] [都02乙] [上60] [上69]「春日駅前」【すぐ】
- 文京区コミュニティバスB-ぐる

「①文京シビックセンター(春日駅前)」【すぐ】